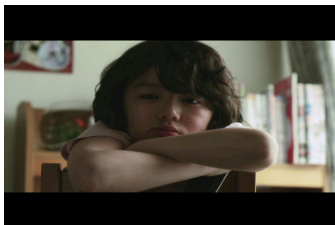


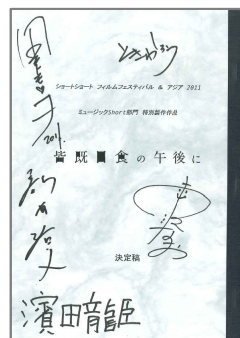
Superflyと米国アカデミー賞公認国際短編映画祭がコラボレーション 濱田龍臣、新井浩文、南沢奈央、田口トモロヲ豪華共演！ 映画祭受賞監督が、Superfly最新楽曲をショートフィルム化

音楽からインスパイアされたショートフィルムを募集する「ミュージックShort部門」が、今年も開催決定。初年度優秀賞に輝いた、常盤司郎監督(「クレイフィッシュ」)が今年の特別製作作品の監督に抜擢され、男女問わず高い支持を得ている、Superflyの楽曲「Ah」からインスパイアされたショートフィルム「皆既日食の午後に」を製作しました。本作品は、6月の本映画祭にて世界プレミア上映されます。また、6月11日(土)よりYahoo!オークションにて開催される、ショートショートフィルムフェスティバル & アジア主催のチャリティオークションに、全キャストに加え、常盤監督、Superfly、本映画祭代表・別所哲也のサイン入り台本を出品いたします。(チャリティプロジェクト：<http://www.shortshorts.org/2011/charity/>)

皆既日食の午後に繰り広げられる、男女3組の登場人物が絡み合う群像劇



ミュージックShort部門特別製作作品「皆既日食の午後に」
(監督:常盤司郎/アーティスト:Superfly/楽曲:「Ah」/
出演:濱田龍臣、新井浩文、南沢奈央、田口トモロヲ 他)
21年ぶりの皆既日食が訪れようとしている夏の午後、窓際で退屈そうに外を眺める少年の視界に飛び込む怪しげな人影。窓ガラスを割り、隣りの家に入ってゆくその男の姿に何故か心躍る。そしてその家に荷物を届けるため、車を走らせる宅配の中年男と無愛想なバイト娘。全く関わりのなかった男女3組が、何故か皆既日食のこの午後にだけ出会ってしまう。太陽と月が重なるように、小さな悩みを抱えた登場人物達の心が重なった瞬間、21年ぶりの贈り物が届こうとしていた…。



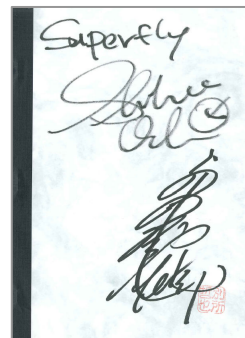
<表>



<ミュージックShortとは?>

チャリティオークション出品
全キャストサイン入り台本

本映画祭では、音楽レーベル各社から正式にエントリーされた楽曲をもとに製作するオリジナルショートフィルム(ミュージックShortクリエイティブ)と、アーティストのオフィシャルミュージックビデオ(PV)で、ショートフィルムの世界観を持つ作品を「ミュージックShort」として紹介。新たなショートフィルムの形を探究してきました。昨年度は特別製作作品として、大黒摩季の名曲「あなただけ見つめてる」からインスパイアされ、黒髪姿の木下優樹菜が話題となった純愛ストーリー「ゆっきーな」や、土屋アンナの夏曲「Brave vibration」からインスパイアされた「ミステルロココ」なども世界プレミア上映しました。



<裏>



『皆既日食の午後に』特設HP(6月8日より公開予定) 本作品予告編も同時公開!

<http://www.shortshorts.org/2011/ja/eclipses-shadow/>



楽曲提供: Superfly

2007年にデビュー。1stアルバム、2ndアルバム、洋楽カバー企画盤で3作連続オリコンアルバムランキング1位を記録。志帆の圧倒的なボーカル、LIVEパフォーマンス、そしてオリジナル溢れる音楽性から現在最も注目を集めているアーティスト。2011年は約1年9ヶ月ぶりの3rdアルバム「Mind Travel」を6月15日にリリースする事が決定している。

「Ah」に寄せる想い by Superfly

人には言葉で感情を伝えられるという、素晴らしい表現方法があるのに、辛くて誰かに聴いてほしいことほど、言葉にできず心の中に留まってしまうことがあると思います。そんな、行き場を無くした想いや、言葉に訳せない想いを、『ああ』という大きなため息で吹き飛ばしてほしい、という想いを歌にしました。小さなため息だと、幸せは逃げてしまうから、この歌に乗せて、とびきり大きなため息で心呼吸をしてくださいね。



濱田龍臣

4歳より本格的に芸能活動開始。CM「山崎製パン」「オロナミンC」や、フジテレビ「まるまるちびまる子ちゃん」で花屋のとくちゃん役等で出演。2010年NHK大河ドラマ「龍馬伝」にてオーディションで1000人の中から選ばれ、坂本龍馬の幼少時代を演じ話題となる。また2010年4月日本テレビ土曜ドラマ「怪物くん」で市川ヒロシ役でさらに注目される。その後はドラマ、映画、CM、クイズ番組等のバラエティー、9歳にてミュージカル座長公演、今春ディズニーアニメ映画の主人公の声優も務めました。今年はずでにCMが4本決以上決定、11月26日～3D映画「怪物くん」(東宝)が公開、また映画「愛しの座敷わらし」(来年公開予定、東映)への出演が決定。



新井浩文

2001年公開の映画『GO』で映画デビュー。2003年には映画『青い春』で高崎映画祭最優秀新人男優賞を受賞。作家・花村萬月の芥川賞受賞作品を映画化した2005年公開の映画『ゲルマニウムの夜』では初主演を果たす。同作品は第18回東京国際映画祭に出品され話題となる。以降、「隣人13号」、「ゆれる」、「劔岳 点の記」、「告白」など映画、TVで活躍している。



南沢奈央

2005年にスカウトされ芸能界入り。連続ドラマ「恋する日曜日ニュータイプ」で主演デビュー。以後、数々のテレビ、映画、舞台などで活躍。2008年ドラマ×映画「赤い糸」でW主演し脚光を浴びる。落語が趣味の現役大学生。映画「象の背中」(07年)、「山桜」(08年)、「シャカリキ！」(08年)、「キミにラブソングを」(10年)「行きずりの街」(10年)「八月の二重奏」(10年)現在NTV系「1億3千万人のエピソードバラエティコレってアリですか？」にレギュラー出演中。



田口トモロヲ

1957年生まれ。東京都出身。78年、「発見の会」で舞台デビュー。82年「俗物図鑑」(内藤誠監督)で映画デビュー。84年パンクバンド「ばちかぶり」を結成。89年、映画「鉄男」(塚本晋也監督)の主演。以後、多数の映画に出演。1996年日本プロフェッショナル大賞功労賞、1997年毎日映画コンクール男優助演賞受賞。NHK「プロジェクトX～挑戦者たち」(2000～2005)では、ナレーションを担当した。2003年、映画「アイデン&ティティ」で監督デビュー。2009監督第二作「色即ぜねれいしょん」で、新藤兼人賞・銀賞受賞。最近の主な出演作に『GANTS』『GANTZ PERFECT ANSWER』(佐藤信介監督)、『あぜ道のダンディ』(石井裕也監督)等がある。

監督:常盤司郎

1999年よりフリーの映像監督として活動。映画、広告、アニメーションの監督・脚本をはじめ、井上陽水のCDなどジャケットやキャラクターのデザインと様々な分野で表現活動を続ける。2010年の短編「クレイフィッシュ」ではShort Shorts Film festival & Asia 2010のミュージックShortクリエイティブ部門にて優秀賞と観客賞を開催初のダブル受賞。主な監督作として板尾創路主演「99%の自殺」、サザンオールスターズ・初のドキュメントムービー「FILM KILLERSTREET ～Director's Cut～」等。

オフィシャルサイト: <http://www.shirotohiwa.com>



▼ 「皆既日食の午後」上映スケジュール

日時／会場：6月19日(日) 18:00～19:50 表参道ヒルズスペースオー
6月22日(水) 19:50～21:40 ラフォーレミュージアム原宿
6月25日(土) 10:45～12:35 ブリリアショートショートシアター(横浜)

※ジャパンミュージックShort(JMS)プログラム内での上映となります。

▼ ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011 開催概要

会場：表参道ヒルズ スペース オー (東京都渋谷区神宮前4-12-10表参道ヒルズ本館地下3F)
日程：2011年6月16日(木)～19日(日)

会場：ラフォーレミュージアム原宿 (東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿6F)
日程：2011年6月22日(水)～26日(日)

会場：TOHOシネマズ 六本木ヒルズ(オールナイト上映) (東京都港区六本木6-10-2 けやき坂コンプレックス)
日程：2011年6月17日(金)・18日(土)

会場：シネマート新宿(3D部門上映) (東京都新宿区新宿3-13-3 新宿文化ビル6・7F)
日程：2011年6月17日(金)～24日(金)

会場：ブリリア ショートショート シアター(横浜開催) (横浜市西区みなとみらい5-3-1フィルム2F)
日程：2011年6月18日(土)～26日(日)

※映画祭オフィシャルHP：www.shortshorts.org/2011/

※オープニングイベントは6月16日(木)、アワードセレモニーは6月26日(日)に行われます。

完全招待制のため、チケットは販売致しません。

▼ ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (www.shortshorts.org)



米国アカデミー賞公認、日本発アジア最大級の国際短編映画祭。1999年、東京原宿で映像王国ハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品など、毎年4000本以上にも及ぶ作品が、世界50以上の国や地域からよせられ、のべ14万人を動員するイベントです。これまでに、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、などでも開催され、2010年にはマレーシアでも開催。「日本生まれ」の映画祭が海外に展開される「ユニークな映画祭」として注目を集めています。また審査員には、大沢たかお、押井守、奥田瑛二、崔洋一、デーブ・スペクター、武田双雲、竹中直人、土屋アンナ、寺島しのぶ、野口健、堀北真希、村上龍、桃井かおり、山田優など多彩な顔ぶれをお迎えし、様々な視点から審査をして頂いています。

2004年には、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となります。また同年10月、石原慎太郎都知事の提案の下、「東京都を拠点とするアジア映像文化のショーケースを設ける映画祭」として「ショートショート フィルムフェスティバル アジア」を「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」の兄弟映画祭として開催。日本で初めての、アジア諸国のショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートしました。現在は、「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」として、毎年同時開催を行っています。

また、映画祭開催初年度から毎年ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げてきました。本映画祭参加監督には、今や米国アカデミー賞ノミネート監督として名高いジェイソン・ライトマン監督や、「カンフーパンダ」などヒット作を生み出すマーク・オズボーン監督、シンガポールの新鋭、「881 歌え！パパイヤ」のロイストン・タン監督などがおり、今や第一線で活躍する監督も続々と輩出しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

ショートショート実行委員会
TEL:03-5474-8844/FAX:03-5474-8202

株式会社プラップジャパン
担当：持富、伊藤、山口
TEL:03-3486-6868/FAX:03-3486-7502
Email:k-mochitomi@prap.co.jp